



中華人民共和国  
人口 13億4,600万人  
面積 959万6,961km<sup>2</sup>



上海市  
人口 1,888万46万人  
面積 6,340.5km<sup>2</sup>(埼玉州とほぼ同じ広さ)

上海市閘北区-ザーベイ区  
人口 80万人(5万人)  
面積 29.2km<sup>2</sup>(111.68km<sup>2</sup>)  
位置 上海市中心部北側  
交通 ▶ 静岡空港就航先の上海浦東空港から車で約1時間  
▶ 市内最大の上海駅  
▶ アジア最大のバス・ステーション  
▶ 中国最大のバラ積み貨物の物流ステーション  
▶ 2つの総合大学(上海大学、同済大学)  
▶ 41中学校、35小学校、57幼稚園  
イベント 上海国際茶文化節、上海国際お茶取引会 他  
\*人口、面積のかっこ内は牧之原市の数値です。

閘北区のまち並み



# 中国一の茶の集積地 上海市閘北区人民政府訪日団来市 茶文化を通じ、友好関係を築く

富士山静岡空港と定期便で結ばれている中華人民共和国上海市の上海浦東空港から北に車で約1時間のまち「上海市閘北(ザーベイ)区」。その閘北区人民政府の周平区長をはじめとする訪日団が本市を訪れた。



周平区長が「友好を深めたい」とあいさつ 上海市閘北区人民政府訪日団が来市 副市長らによる閘北区交流視察(10月)



周平区長(左)に友好の証として「相良風」の額を贈る西原市長

の中でも重要な地域である。毎年さまざまなイベントが開催されるなど、市民の余暇生活を豊かにしているのも特徴だ。その中に、本市との共通点である茶に関するものとして上海国際お茶取引会がある。このイベントは2008年に初めて開催され、アメリカ、ロシア、ドイツ、韓国など多くの茶葉消費国の企業が参加。中国国内外の茶業者相互の情報交換と商談のために活用されている。日本からも日本茶の紹介のために友好使節団が参加し、会場内で人気を集めた。

**ふじのくにに3776友好訪中団**

今夏、県が進める「ふじのくに3776友好訪中団」に市長が参加。その際、大村副知事と共に閘北区を訪問した。

周平区長とは初めての面会で、区長からは「茶文化を共通点とし、より多方面で長期的に関係を築きたい」と友好を求められた。市長は「産業と茶を通して、交流ができるといい。すばらしい茶畑があるから、ぜひ牧之原市に来てもらいたい」と答えた。

10月には、市議会議長と副議長、副市長らも県の同事業で訪問。茶市場などを視察するとともに、来市の要請を再度した。



訪日団の皆さんと記念撮影

**友好交流を推進**

来市した訪日団を市長、議長、茶業関係者、商工業関係者ら約50人が迎えた。

周平区長は、式典で「茶畑がきれいに整備されていて感激した。今後もお茶を中心に、両市区の関係性を深めていきたい」と述べた。

式典後、一行は株式会社伊藤園静岡相良工場を見学し、日本のお茶が最新の機械で安全安心な環境で製造されていることを確認した。

今後、両市区に共通するお茶文化を通じて、閘北区との相互理解や友好交流を進めていく。

**静岡県の市町と交流を希望**

2008年、上海市にある静岡県の中国事務所、上海市外事弁公室から連絡があった。それは、閘北区が県内の市町との交流を希望する意向を持っているとの内容であった。

そこで県は、上海市と直接つながっている富士山静岡空港があり、日本でも有数の茶産地、さらには環境保全分野でも積極的な取り組みを進める本市を、交流に最もふさわしい相手として紹介することとした。

閘北区は、上海市中心部の北側に位置する市管轄区である。中国各地へ向かう交通の要所で、上海市の「陸上のドア」と呼ばれている。鉄道の上海駅をはじめ、アジア最大の長距離乗客運輸ステーション、中国最大のバラ積み荷物の物流ステーションがあり、同区は中国経済

牧之原市は11月22日、相良史料館で本市と茶文化を通じた交流を希望する中華人民共和国上海市閘北区人民政府訪日団の歓迎式を執り行った。

来市したのは周平区長をはじめとする同人民政府6人。訪日団は19日に来日し、東京都内で会社訪問や商業地開発の視察などを行った後、本市を訪れた。